

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取工業高等学校

重点項目	地域を支える専門人材育成	提出日	令和4年12月22日
------	--------------	-----	------------

1 学校目標
『地域を支える人財（材）、技術者の育成』 技術を研ぎ、身体を鍛え、心を磨くことをとおして、優れた知性や創造性を身に付けたたくましい力と、感動したり他者を思いやるあたたかな心を兼ね備えた、健全で個性豊かな人材の育成をめざす。
2 重点項目に係る目標
(1) 学力の向上 ア 授業改革と学力の向上 イ 主体的な学習態度と実践力の向上 (2) 豊かな人間性の育成 ア 互いを尊重する態度と社会性の涵養 イ 健全な心身と社会貢献精神の育成 (3) キャリア教育の充実と進路実現 ア 専門的な知識・技術の習得 イ 勤労観・職業観の育成と進路指導の徹底 ウ 地域や産業界との連携強化 <数値目標> (1) 基礎力診断テストにおいて国公立大学への進学を視野に入れることができるBゾーン以上の学力層にある工業学科生徒割合 18%以上（現状：令和3年度…16%） (2) 就職内定率 100%（第一希望先就職内定率 90%以上を維持） （現状：令和3年度…就職内定率 100%、第一希望先就職内定率 96%） (3) 単年度資格取得数一人一資格以上（現状：令和3年度…0.65 資格/人） (4) ジュニアマイスター顕彰（複数の難度の高い資格取得者を顕彰するもの） 対象者 15 名以上（現状：令和3年度…10 名）
3 事業計画（事業名、事業概要）
【高等学校課事業】 ・「主体的・対話的で深い学び」教員スキルアップ事業 令和3年度から取り組んでいる本校のSTEAM教育を進めるため、STEAM教育先進校等の有識者による講演を実施する。また、本校の実践等について、講師より指導助言をいただく。

(様式1)

- ・社会人講師活用事業

社会人講師と教職員のティームティーチングにより、現場で使用されている高度な機械加工技術や電子回路の知識・技術を習得させる。

- ・キャリア教育充実事業（1年生）

1年生の進路LHRで「さまざまな働き方、暮らし方」をテーマに地元企業から講師を招き、地元企業の理解とその魅力について考え、自身の進路設計の一助とする。

- ・キャリア教育充実事業（2年生） 先輩を囲む会

各科の卒業生を招き、各企業や進路先に関わる話を聞くことで、「働くこと」や「学ぶこと」の意義について考え、進路目標に向けた行動計画の参考とする。

- ・キャリア教育充実事業（3年生） 社会人としての基礎教養講座

社会保険労務士会、鳥取県労働者福祉協議会等の派遣講師の講義により、就職・進学後に必要なビジネスマナーや社会常識等を習得し、社会の一員としての自覚を深め、卒業後の環境変化にスムーズに対応する力を身につける。

- ・キャリア教育充実事業（1・2年生） 分野別進路ガイダンス

鳥取テクノヒルズ会員企業等、地元産業界及び上級学校から講師を招き、各業種別の内容や実態、諸学問の分野別の内容について講演会を開催することで、生徒及び保護者が進路について考える機会とする。

- ・特別支援教育充実事業

公認心理士・臨床心理士の資格を有する大学教授等をアドバイザーに招いて職員研修を実施するとともに、校内及び生徒の様子について参観及び助言をいただく。

【独自事業】

(1) 授業改革・学力向上事業

- ・教員授業力向上研修

工業教育に関する各種研修会・講習会に参加することで、最新の技術や情報、実践方法を取得する。また、小論文指導やWeb上での教育コンテンツを利用し、個々の教員に応じた研修を幅広く行うことで授業力を高める。

- ・鳥工版STEAM教育推進事業

STEAM教育の意義や具体的な実践方法について有識者から講義を受け、STEAM教育への理解を深める。また、国内で先進的にSTEAM教育に取り組んでいる関西方面の高校等を視察し、STEAM教育を進めていく上での実践的な知見を得る。

- ・鳥取県高校生英語弁論大会

生徒の英語学習への意欲を喚起し、国際的視野をもつ人材の育成をねらいとし、学校の代表として英語弁論大会等に参加する生徒に対する支援を行う。また、積極的に英語に取り組む生徒を育むため、英語リスニング検定の受検を支援する。

(2) 豊かな心育成事業

- ・心を育む事業

ハイパーQU アンケートを実施して、学級や学校生活での満足度、ソーシャルスキルの定

(様式1)

着度等を集約し、生徒への対応や学級経営に役立てるとともに、いじめ等の早期発見と予防に取り組む。また、性に関する基本的知識、デートDV、性意識・性行動の違いや特徴など、年齢に合わせた講演会を行い、個々の人格を尊重することの大切さ、お互いを尊重し合う関係づくりについて理解を深める。

(3) ものづくり技術育成事業

・資格取得促進事業

社会人講師等の指導を受け、技能検定にチャレンジすることで、日頃の学習成果を定着させるとともに、より専門的な知識・技能の習得を果たす。さらに、就職・進学双方で進路選択の幅を広げる。

・課題研究発表会

1年間の研究内容・成果の発表の場を設けることで、課題研究の意欲の向上や探究心を喚起し、プレゼンテーションの力を高める。また、1・2年生にも聴講させることで、専門科の学習に見通しをもたせ、教育活動に対する理解と目的意識を明確にする。

・鳥工版デュアルシステム

長期の企業現場での実習をとおして、現実の労働や社会との出会いから職業人に必要な力を総合的に体感させる。実践的な職業知識や技術・技能を習得させることにより、生徒の資質・能力の伸長を図り、勤労観・職業観をより一層醸成する。3年生の「課題研究」の時間に実施する。

・創造的技術育成事業

SDGs 探究として食糧自給分野へのロボット活用に取り組み、環境問題を解決する姿勢と工業技術を生かす実践力を養う。また、EconoMove 関西大会・Ene-1GP (エコデンカー)、マイコンカー、レゴロボット等の競技大会に参加することで、実習で学習した技術を応用し、工業の総合的な力をつける。

さらに、高い技術レベルが求められる「全国高等学校ロボット競技大会」の規定に準ずるロボットの設計・加工・制作を行い、当大会の出場を目指す。

・ものづくり技術育成事業 (ものづくり大会)

「高校生ものづくりコンテスト」大会に参加することで、製造業を支える技術者・技能者への成長を促し、より高度な検定受検・資格取得の動機付けとする。

(4) キャリア教育育成事業

・インターンシップ

工業の学習内容が現場でどのように活かされ、応用されているのかを体感し、職業観・勤労観を育み、進路選択の一助とする。また、実社会で必要な知識やマナーを身に付ける。

・2年生研修旅行

関西地域を中心に企業見学を実施し、専門的な分野の見聞を広げる。また、地元企業の技術レベルの高さや特徴を再認識し、将来、地元産業に貢献しようとする意欲を高める。

(様式1)

・進路指導支援事業

就職・進学実績の高い県外企業及び大学を訪問して卒業生の様子を把握し、進路先と情報交換することで、生徒の定着指導及び進路指導の充実を図る。

【その他】

・スーパー工業士認定プログラム（県教育委員会関係課事業）

AI（人工知能）の利活用ができるものづくり人材の育成を目指し、AIをはじめとするデジタル技術を活用して生産現場の高度化や新しいものづくりを実現する素地を持つ高校生を「スーパー工業士」として認定する取り組みに参加する。

・AIプログラミング教育

現代のAIの中核技術である「機械学習」を学ぶことで、AIの可能性と本質を理解し、AIを使いこなすことを目的とする。また、センサの技術、ビッグデータを分析・有効活用するためのデータサイエンスの能力を身につけ、新しい製品を生み出すとともに、Society5.0時代のさまざまな社会課題を解決する人材を育成する。

※枚数任意